

# 平成31年度 学校自己評価システムシート ( 県立 小川高等学校 全日制課程 )

目指す学校像	伝統校としての自覚を持ち、学習に重きを置き、行事や部活動等に主体的にチャレンジする生徒を育成する。
--------	---

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

重点目標	1 進学選抜クラスを核とする普通科全体の学力向上に努め、個々の生徒のキャリア意識の向上と進路指導の充実をはかる。 2 基本的な生活態度の確立をはかり、学校行事、部活動等に主体的に取り組む生徒を育てる。 3 保護者や地域との連携をはかり、開かれた魅力ある学校づくりを推進する。
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価								学 校 関 係 者 評 価	
年 度 目 標					年 度 評 価 ( 1 月 3 1 日 現 在 )			実 施 日	平 成 年 月 日
番号	現 状 と 課 題	評 価 項 目	具 体 的 方 策	方 策 の 評 価 指 標	評 価 項 目 の 達 成 状 況	達 成 度	次 年 度 へ の 課 題 と 改 善 策	学 校 関 係 者 からの 意 見 ・ 要 望 ・ 評 価 等	
1	<p>【現状】 生徒は落ち着いて概ね意欲的に授業に取り組んでいる。偏らない学力を向上させることにより、生徒たちの多様な進路希望は概ね実現されている。 【昨年度大学・短大進学率43.8%】 【昨年度生徒アンケートの授業満足度64.9%】 【課題】 生徒の進路への意識を高め、学校全体で生徒の学習環境を一層充実させる。本校独自の学力向上の取組に加え、「おがわ学」「未来を拓く『学び』プロジェクト」の推進を中心に授業改善に取り組み、より高い進路希望の実現を図る。</p>	<p>1 生徒の学力を把握し、基礎学力を向上させるための授業力の向上。 2 主体的な学習に向けた環境づくり。 3 3年間を見通した進路ガイダンス、進路に応じた補習等、多種多様な進路希望に応じた指導の充実 4 進学希望者に対する指導の充実。</p>	<p>1 教員を授業力向上のための研修に参加させるとともに、校内で公開授業・授業研究を開催する。【年2回】 2 放課後19時まで図書館を開放し、生徒の自学を促す【通年】。 3 計画的にガイダンスを行い、確かな情報を提供し各進路希望に応じた小論文指導・面接指導・対策講座を実施する。【通年】 4 スタディサプリの円滑な運営、学校独自の進学対策講座を行う。</p>	<p>1 全学年・教科による学力把握と分析、基礎学力向上の取り組みが丁寧に行われたか。 2 図書館ボランティアの方を募って開館し、生徒の自学を定着できたか。 3 生徒の意識を高めながら、計画的・効率的にガイダンスや指導を行えたか。 4 生徒の現状と希望を踏まえた対策講座を実施できたか。・生徒アンケートで進路指導満足度8割</p>					
2	<p>【現状】 生徒は穏やかで真面目な高校生活を送っており、本校に馴染んでいる。 【昨年度生徒異動6名】 【課題】 規律、自主性のある学校生活を土台に、学校行事、部活動等に主体的に取り組ませ、充実した学校生活を送らせるよう指導する。 文化祭等の各種行事の準備、指導を工夫、改善する。</p>	<p>1 学級・学年・生徒指導部の連携と補助着、スカート丈の指導の徹底 2 安全安心な学校生活をするための教育の推進 3 生徒主体による学校行事の推進と指導体制の改善</p>	<p>1 共通理解に基づき、担任を中心に学年・生徒指導部で連携して日常的な生活指導を全職員で行う。【通年】 2 交通安全、薬物防止、盗難防止、防災、情報モラル確立を推進する。・外部講師を招聘し講演会を実施 3 生徒の要望を吸い上げ、生徒主体による学校行事、特に文化祭は全職員で指導し、多くの生徒の活動の場をつくる。【通年】</p>	<p>1 日常の挨拶や集団生活のルールが守れるように連携して指導できたか。・生徒アンケートで規則遵守9割 2 安全に生活するための教育(交通安全、薬物防止、盗難防止、防災、情報モラル確立)を実施できたか。 3 生徒の要望を吸い上げ、生徒主体による学校行事を全職員で指導し多くの生徒の活動の場を作れたか。</p>					
3	<p>【現状】 学校説明会等の実施時期や内容を工夫すると共に、近隣中学校主催の進路説明会にも全て参加し、募集定員の確保に努めている。また、PTA行事についても、より多くの保護者が関わりやすいように改善している。さらに、PTAニュースやメールシステムを活用し、適切な情報発信に努めている。 【課題】 本校の魅力を的確に伝えられるように、ホームページ等の更新に工夫を加える。また、「おがわ学」の推進により、地域と学校が共に生徒の成長を支援する。</p>	<p>1 学校説明会、個別相談会、授業公開、中学校訪問、中学校進路説明会の効果的な実践。 2 保護者と連携しながらの教育環境の改善・向上。 3 地域と共同した行事の推進と指導体制の改善</p>	<p>1 全職員が協力して、本校の魅力を伝えていく。 ・年2回の外部向け授業公開 ①本校保護者及び中学生とその保護者に公開 ②彩の国教育週間 ③学習塾等対象の授業公開 ・年5回の学校説明会と全職員による年2回の中学校訪問。 2 登校指導や文化祭などの学校行事を中心に協力。 3 地域行事の参加について全職員で指導し、より多くの生徒に地域貢献の機会を与える。</p>	<p>1 生徒募集に関わる行事に全職員が積極的に参加・協力して取り組み、充実したものになったか。 2 登校指導や文化祭などの学校行事を保護者と共に協力して実施できたか。 3 学校全体で10以上の地域行事に参加させ、地域とともに生徒を指導できたか。</p>					